

2020年2月21日

PRESS RELEASE
報道関係者各位

一般社団法人 佐渡国際芸術推進機構
さどの島銀河芸術祭実行委員会
吉田 モリト
〒952-0021 新潟県佐渡市秋津4 1 7-9
TEL:0259-67-7657 FAX:0259-67-7587
E-mail: morito@sado-art.com
Mobile: 090-5755-7762

ミニマル音楽界の巨匠「テリー・ライリー」初来島！ ドキュメント映像作成プロジェクト

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、「さどの島銀河芸術祭」では、2021年の芸術祭に向けて、作曲家「テリー・ライリー (Terry Riley)氏」の新作制作プロジェクト企画を進めております。今回、佐渡島に初めてご来島いただき、新作の基となるインスピレーションを得るために、島内各所を視察いただく予定です。視察時には現代美術家の宇川直宏氏が代表を務める映像クリエイティブ会社「DOMMUNE」が密着取材を行いドキュメント映像撮影し、オンラインメディアで配信する他、DVD にまとめ配布いたします。

敬具

- 1, 場所：島内各所 別紙、旅程をご参照ください
- 2, 日時：2月24日～2月28日

テリー・ライリー

(Terry Riley、1935年6月24日-)は、アメリカ合衆国出身の作曲家である。スティーヴ・ライヒやフィリップ・グラスらと並ぶミニマル・ミュージックの代表的な作曲家の一人。



生誕	1935年6月24日 (84歳)
出身地	アメリカ合衆国 カリフォルニア州コルフアックス
学歴	アメリカ合衆国の旗 アメリカ合衆国 カリフォルニア大学バークレー校
ジャンル	現代音楽、ミニマル・ミュージック
職業	作曲家、ミュージシャン
公式サイト	http://terryriley.net/

アメリカ合衆国カリフォルニア州コルフアックスに生まれ、シャスタ・カレッジ、サンフランシスコ州立大学、サンフランシスコ音楽院で学んだ。その後、カリフォルニア大学バークレー校に入学、セイモア・シフリンと共に作曲法を学び、修士の学位を得た。しかし、彼に最も大きな影響を与えた教師はパンディット・プラン・ナートであった。プラン・ナートはインド古典音楽の名人で、ラ・モンテ・ヤングやマリアン・ザジーラも彼の生徒であった。ライリーはパンディットの課程の間に何度もイン

ドを訪問し、師が演奏する際、タブラ、タンブーラ、及び声による伴奏に携わった。1960年代を通じて、彼はヨーロッパにも度々旅行した。そこではピアノ・バーで日々の糧を得ながら、音楽的影響も受けた。1971年からはミルズ・カレッジにてインド古典音楽の教鞭をとることとなった。

1960年代にはまた、有名な「徹夜コンサート (All-Night Concert)」を行った。そこでライリーは古い「バラストの中に真空掃除機のモータで風を送り込むような」リードオルガンとテープレコーダーによる遅延装置付きのサクソフォーンを用い、日の入りから日の出まで即興演奏を披露した。何時間も演奏し続けた彼がついに休憩を必要とした際、夜中じゅう回しっぱなしにしていたテープレコーダーのテープをループさせ、サクソフォーン演奏の断片を繰り返し再生した。この種のコンサートは何年も続き、観客は寝袋、ハンモック持参で家族全員を連れてくるようになった。

ライリーは長年にわたりクロノス・クアルテットとの関係を保ったが、その始まりはミルズ・カレッジで創始者のデイヴィッド・ハリントンと出会った時であり、それ以来、アンサンブルのために13の弦楽四重奏曲を作曲した。最初の管弦楽曲「Jade Palace」を作曲したのは1991年のことであり、その後、同方面の作品が続いた。現在ではインドのラーガ歌唱及びピアノ独奏でも実演と教育を行っている。

日本では、2005年に自由学園明日館講堂、金沢21世紀美術館・シアター21で、ギタリストのデイヴィッド・タネンバウムらとともに公演を行った。また、2014年には映像作家寒川裕人と共同プロジェクトで来日公演を行った[1]。2017年11月には、ファナ・モリーナ、ジェフ・ミルズとのツーマン（会場：渋谷 WWW X）ならびに単独公演（会場：代官山 晴れたら空に豆まいて）を行い、大きな話題を呼んだ。また、その来日に先駆けての DOMMUNE でのビデオ・インタビューに於いて、「『ミニマル』というのはアカデミックすぎる。自分はむしろ『サイケデリック』と呼ばれたい」と述べた。